

阿蘇山の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

<噴火警戒レベル 3（入山規制）に引き上げ>

中岳第一火口では、本日（14 日）09 時 43 分に噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上 2,000m まで上がりました。この噴火に伴い火口周辺に火砕流が流下した可能性があります。また、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口周辺に飛散するのを確認しました。

今後も同程度の噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から 1 km を超えて飛散する可能性がある判断し、10 時 10 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）からレベル 3（入山規制）に引き上げました。

【防災上の警戒事項等】

火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。火口周辺では強風時に小さな噴石が 2 km を超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意してください。

・噴火の状況（図 1、図 2-①）

阿蘇山の中岳第一火口では、本日（14 日）09 時 43 分に噴火が発生しました。噴煙は灰色で、火口縁上 2,000m まで上がりました。この噴火に伴い、火口周辺に火砕流が流下した可能性があります。また、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口周辺に飛散するのを確認しました。

噴石の飛散範囲などの噴火の詳細については火山機動観測班により現在調査中です。

・地震・微動の状況（図 2-②③④、図 3、図 4）

噴火に伴い振幅の大きな火山性微動が発生し、約 5 分間継続しました。古坊中観測点の空振計で 32Pa の空振を観測しました。

火山性微動の振幅は 9 月 10 日から大きい状態となっています。

孤立型微動¹⁾は多い状態で経過しています。火山性地震は 6 日から 9 日にかけてやや多い状態でした。

1) 阿蘇山特有の微動で、火口直下のごく浅い場所で発生しており、周期 0.5~1.0 秒、継続時間 10 秒程度で、中岳西山腹観測点の南北動の振幅が 5 μ m/s 以上のものを孤立型微動としています。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、九州大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『基盤地図情報』『基盤地図情報（数値標高モデル）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

・火山ガスの状況（図2-⑤）

9月4日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり1,700トン（前回：8月21日1,700）トンと多い状態でした。

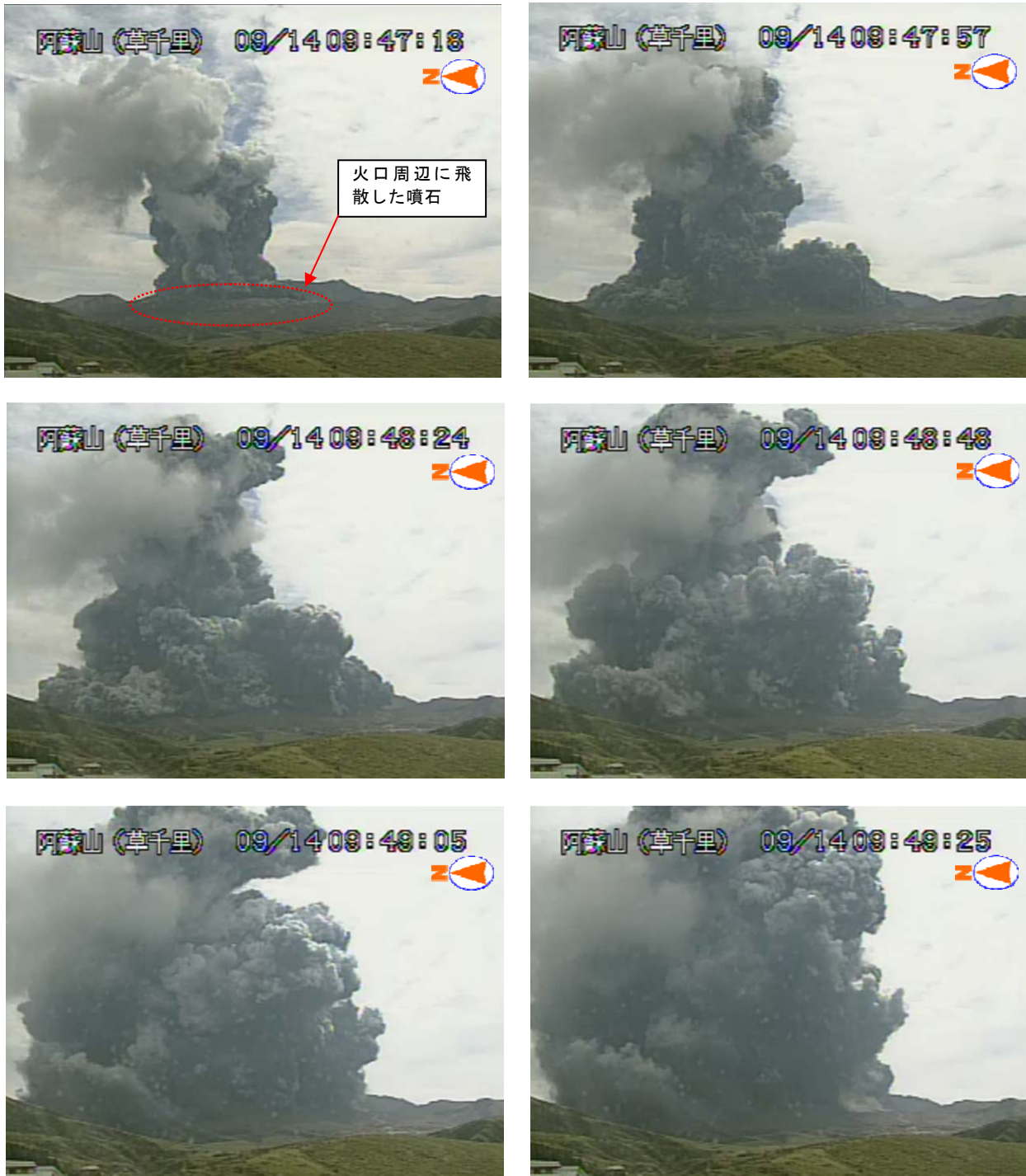


図1 阿蘇山 噴火の状況（9月14日、草千里遠望カメラによる）

- ・本日（14日）09時43分に噴火が発生しました。
- ・火口周辺に火砕流が流下した可能性があります。
- ・弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口周辺に飛散するのを確認しました。

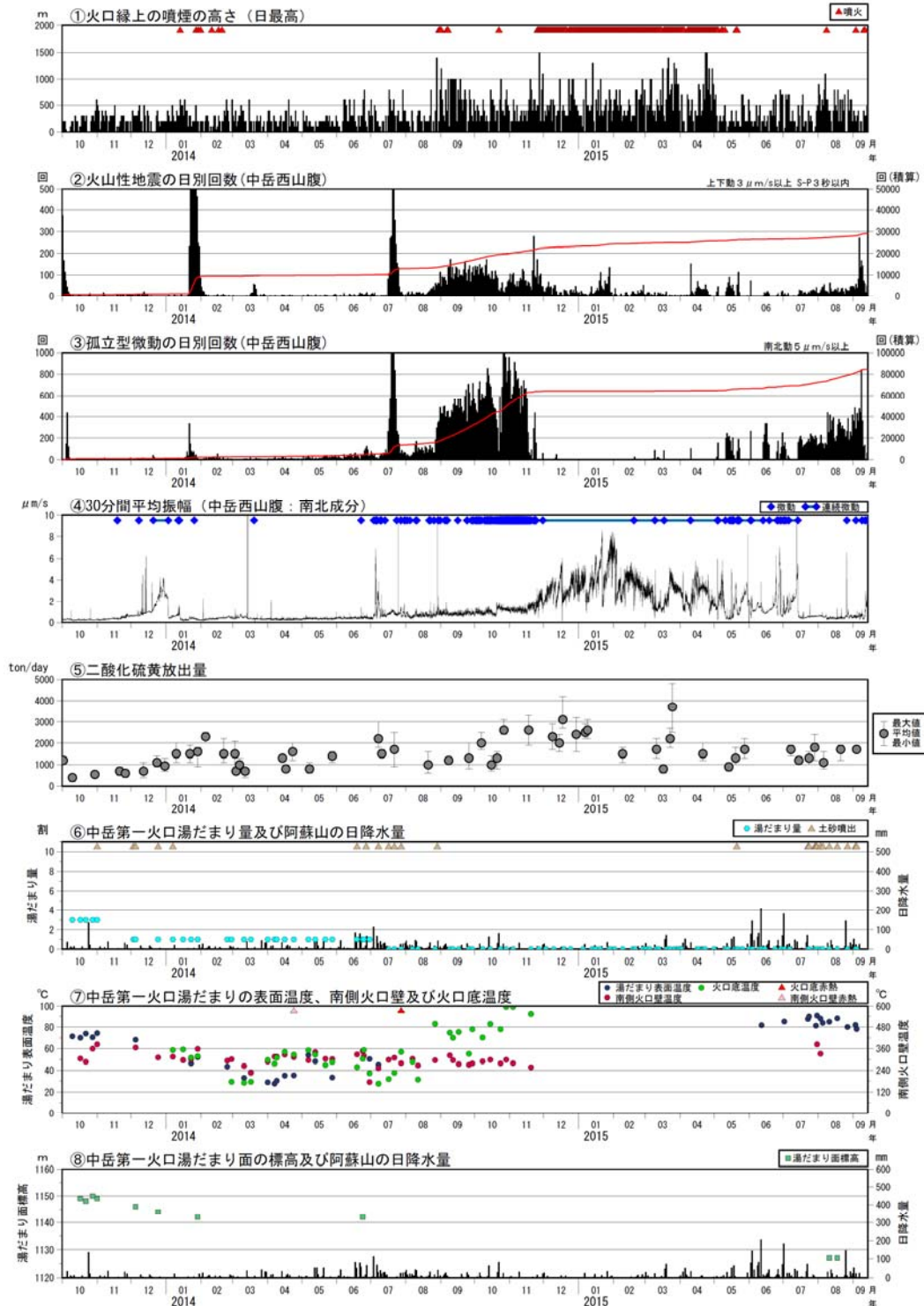


図2 阿蘇山 火山活動経過図 (2013年10月～2015年9月14日)

<9月の状況>

- ・本日(14日)09時43分に噴火が発生しました。噴煙は灰色で、火口縁上2,000mまで上がりました。
- ・火山性微動は9月10日頃から大きな状態となっています。
- ・孤立型微動は多い状態で経過しています。火山性地震は6日から9日にかけてやや多い状態でした。
- ・9月4日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり1,700トンと多い状態でした。

②と③の赤線は回数の積算を示しています。

火山性微動の振幅が大きい状態では、火山性地震、孤立型微動の回数は計数できなくなっています。

⑦の湯だまり温度等は赤外放射温度計で計測していましたが、2015年6月から赤外熱映像装置により計測しています。

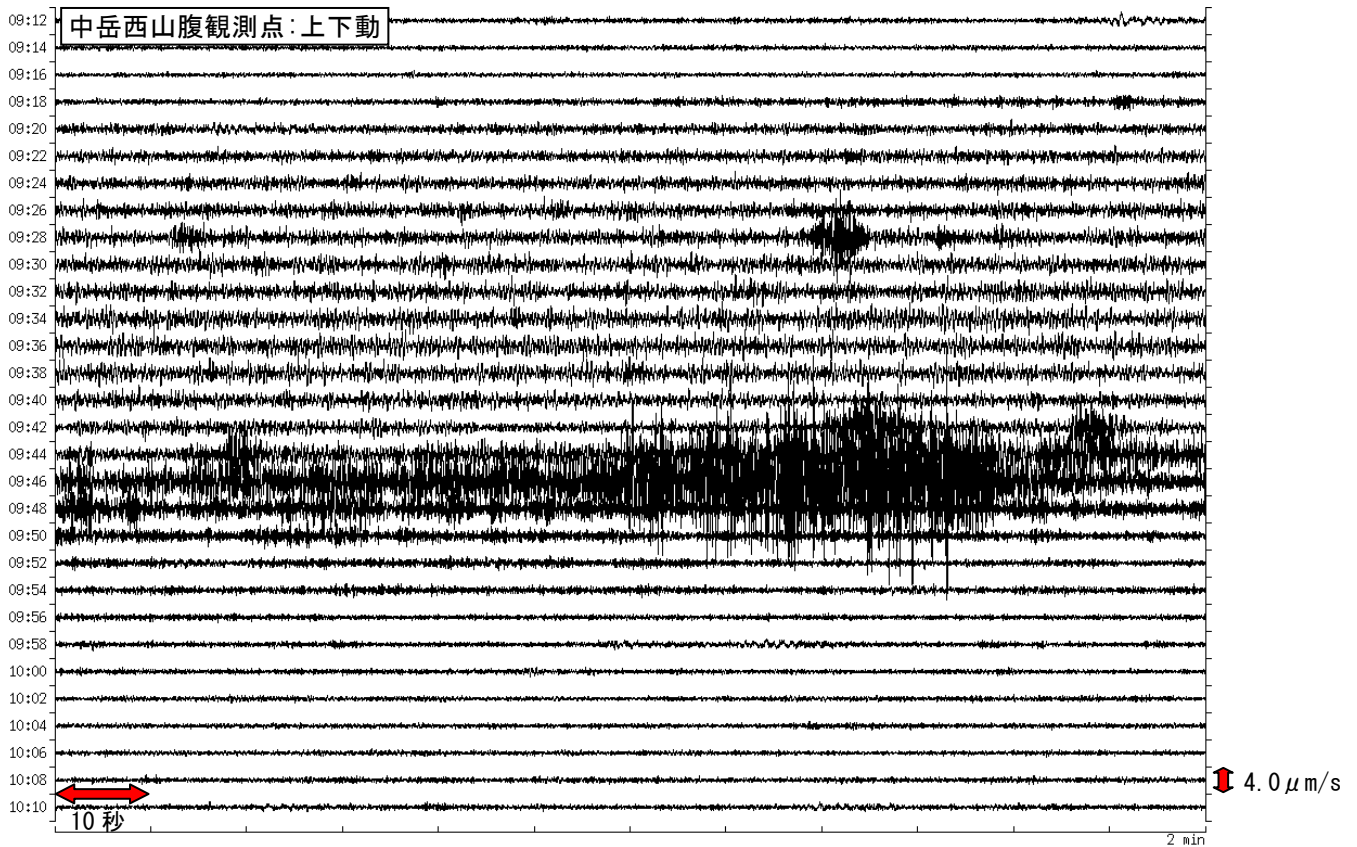


図 3 阿蘇山 09 時 43 分に発生した噴火に伴う地震波形
(中岳西山腹観測点、2015 年 9 月 14 日 09 時 12 分～10 時 12 分)

- ・ 09 時 43 分に発生した噴火に伴い、火山性微動が発生しました。
- ・ 火山性微動は約 5 分間継続しました。

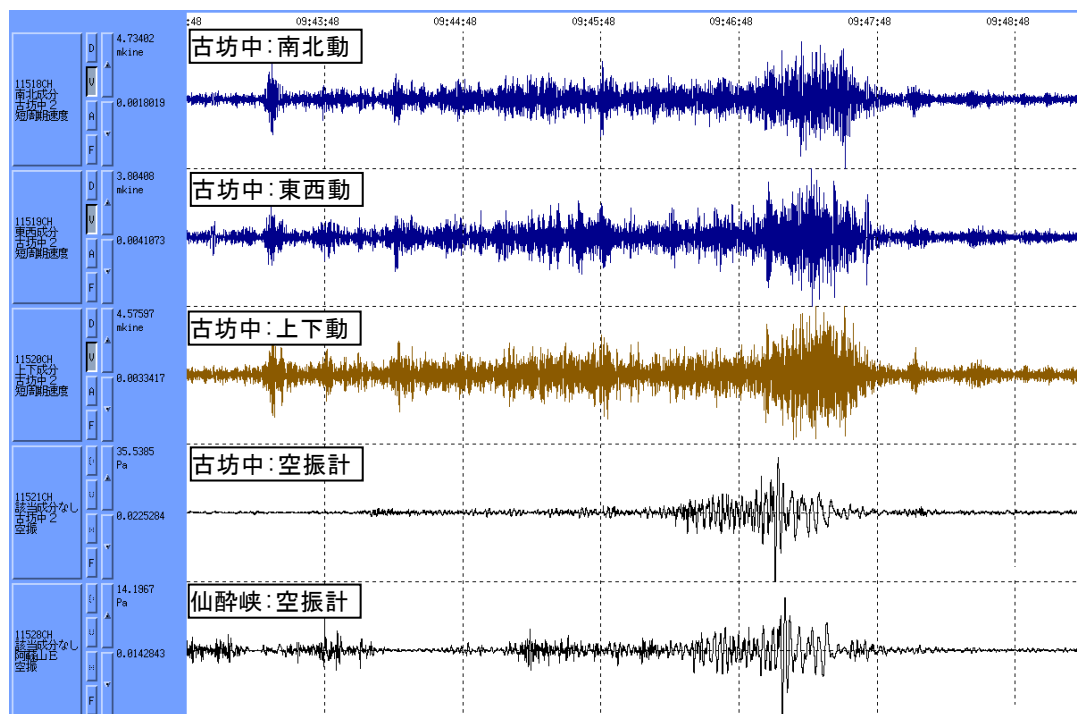


図 4 阿蘇山 09 時 43 分に発生した噴火に伴う地震波形と空振波形
(地震波形：古坊中観測点、空振波形：古坊中観測点、仙酔峡観測点)

09 時 43 分に発生した噴火に伴い火山性微動が発生し、古坊中観測点で 32Pa の空振を観測しました。

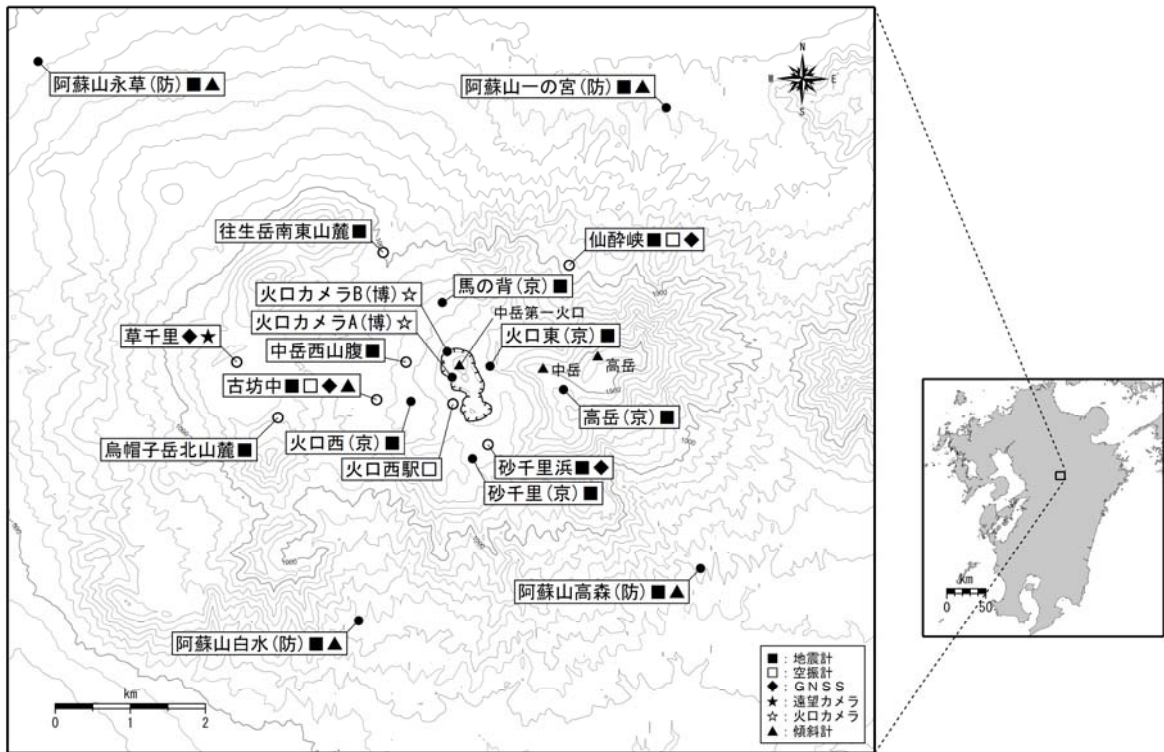


図 5 阿蘇山 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (京)：京都大学、(防)：防災科学技術研究所、(博)：阿蘇火山博物館

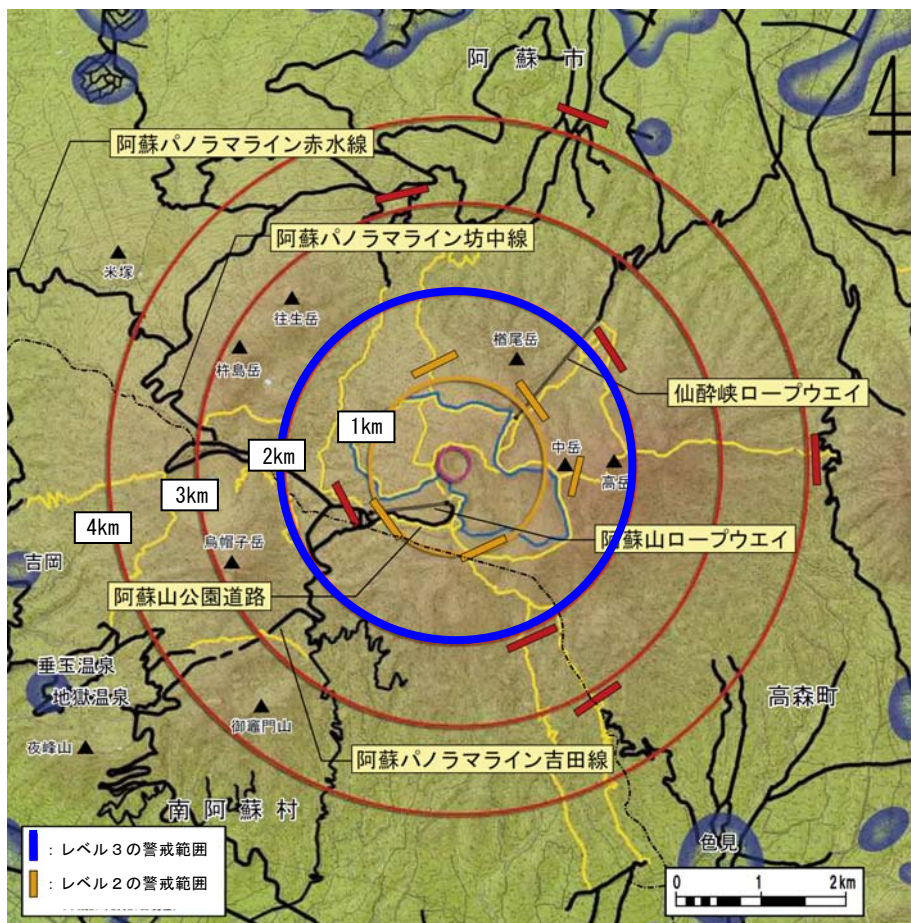


図 6 阿蘇山 警戒が必要な範囲